

著者 : Laura Hawks, MD 他

Cambridge Health Alliance, Harvard Medical School

JAMA Internal Medicine に「米国の留置場、刑務所の COVID-19」に関する意見 (Viewpoint) がハーバードの医師達からありました。あまり考えたことのなかった視点です。

ポイントは次の 3 点です。

- ① 留置場、刑務所は混雑のため social distancing は難しい。
- ② 収容者の高齢化により合併症多く COVID のハイリスクである。
- ③ 軽犯罪者は起訴猶予を、残り刑期 2 年以内は釈放を！ 65 歳以上は再犯少ない。

Jail (留置所) と Prison (刑務所) は違うのだそうで、Jail は判決を待つまで短期間留置する所、Prison は長期間服役する所です。

小生、警察友の会に入会しているのですが飲み会の時、お聞きしたところ、当地の警察署の留置場では長くて 3 ヶ月位留置するのだそうです。食事は外注でした。そう言えば外来の患者さんで「今日は知り合いの出所祝い」という人がいました。

2020 年 3 月中旬に、ニューヨークの Riker 島の Jail complex で COVID-19 第 1 例発症。2 週間で 200 例感染、シカゴのクック郡の留置場でも 350 例発症しました。ネットで調べたところ Rikers 島はニューヨークのイースト川の中にある島で国連ビルから 8km ほどの距離です。

1918 年スペイン風邪がサンフランシスコの San Quentin 刑務所で流行した時は、1,900 人の収容者の半数が感染し、往診 (sick call) が毎日 150 件から 700 件に急増しましたが病院が満床のためそのままとされました。

Jail (留置所) や Prison (刑務所) は普通混雑しており患者の隔離が難しく social distancing は不可能です。

また矯正官 (correctional officer) やスタッフが常に刑務所と外界を行き来しており収容者に感染すればあつと言う間に広がります。

似た環境だったダイヤモンドプリンセスでは 3,700 人の乗客の 700 人が感染、12 人が死亡しましたが、急速な感染の伝播は Deck 3 で感染者の給仕をしていた厨房の少数従業員が共同生活していたためとされています。

また収容者の高齢化が問題なのだそうで、半数は1つ以上の慢性疾患があり、10%は心疾患、15%は喘息とのことです。

米国憲法は収容者のヘルスケアの保障はしていますが、彼らは刑務所での少ない賃金から保険料 (co-payments) も支払っており治療を受けたりません。また受診したくても待ち時間が長いのです。

受診料は刑務所側が負いますからそれも阻害要因 (disincentive) となっています。

アウトブレイクを減らすに一番良いのは収容者数を減らすことです。

その方策として、ボルチモアでは非合法薬所持等、軽犯罪の起訴者は収容を猶予しています。また COVID-19 ハイリスクの高齢者や非暴力的犯罪者、仮釈放 (parole) 中の違反者、残り刑期が2年以内の者の釈放が考えられています。65歳以上では再犯は少ないからです。

ポイント3点の怒涛の反復です。

- ① 留置場、刑務所は混雑のため social distancing は難しい。
- ② 収容者の高齢化により合併症多く COVID のハイリスクである。
- ③ 軽犯罪は起訴猶予を、残り刑期2年以内は釈放を！65歳以上は再犯少ない。